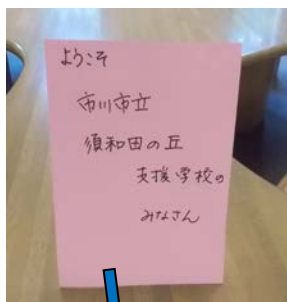


学校図書館支援センター通信 NO.135 7月号

令和元年度 市川市学校図書館支援センター（市川市教育センター）

須和田の丘支援学校 中学部2年 校外学習

～中央図書館へ行こう～



7月3日（水）、須和田の丘支援学校 中学部の2年生が、校外学習として、中央図書館を訪れました。中央図書館の司書の方が、須和田の丘支援学校へ読み聞かせに行くことはありましたが、須和田の丘支援学校の中学部の生徒たちが、中央図書館へ足を運んだのは、はじめてのことです。

今回の校外学習を企画したのは、司書教諭の野口由紀子先生です。「学校で学んだことが、社会で活きるということを生徒たちに実感してもらいたい。」「余暇の過ごし方のひとつとして、保護者の方と休みの日に中央図書館へ来てもらいたい。」という思いから計画を立てました。校外学習に向けての事前準備をしっかりと行い、中央図書館の司書の方との事前打ち合わせでは、当日の流れ、公共図書館の約束ごとなどについて、丁寧に確認したそうです。そのため、須和田の丘支援学校の先生方と中央図書館の司書の方が、今回の学習のねらい等を共通理解したうえで、校外学習当日を迎えることができました。

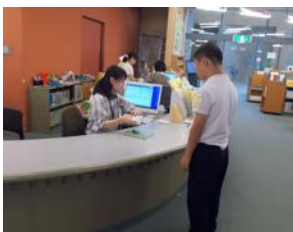
生徒に向けての図書館の利用方法の説明では、常勤学校司書連絡会で作成した「学校図書館オリエンテーションで使えるパワーポイント」を須和田の丘支援学校バージョンに編集をして、使用しました。また、生徒たちが本に親しむことができるように、校外学習の前に「本作り」を行ったそうです。「本作り」を通し

ミニ絵本の会



当日の流れ

- ① こども図書館の説明
- ② ミニ絵本の会
 - ・大型絵本読み聞かせ
 - ・パネルシアター
 - ・手遊び
- ③ 選書・読書
- ④ 図書の貸出
- ⑤ 図書館クイズ



学校で教えてもらった方法で実際に本を借りました。

て、表紙、裏表紙、背表紙、あそび紙、目次など本のつくりを学びました。スクラップブックのように、自分が好きな写真を好きなように貼り、目次を書いて完成した自作の本は、どの子も気に入って何度も読み返していたそうです。事前学習で、このような体験をした生徒たちは、中央図書館内にある「こども図書館」の本に興味を持ち、自分の好きな本や好きなことが載っている本を探したり、実際に手に取って読んだりしながら、思い思いに図書館にある本を楽しんでいました。

あたたかい歓迎の中、地域の方と一緒に中央図書館を利用している生徒たちの様子は、インクルーシブ教育が形となった学習であったように感じました。学校に戻った生徒たちから「また行きたい」という声が聞かれたそうです。次へつながる学びとなりました。

生徒たちの作品 ～本作り～



図書館の窓から ～ひろげよう！図書館の輪・リレー執筆～



第五中学校では毎朝、朝読書の時間があります。小学校では国語の時間を図書館で過ごし読書を楽しんだ経験のある五中生です。朝読書の時間はどの教室も静かに本を広げ、集中して読む姿がみられます。そんな朝読書の時間を図書委員会でサポートできることはないかと考え、昨年度から、図書委員のすすめの本の帯作りやコーナー展示、図書委員が本を選んで、学級文庫にする事を始めました。嬉しいことに図書委員の選んだ本が気に入って、続きを借りに来てくれる生徒もいます。

今年度の委員会の目標は「積極的に仕事を行い、多くの人に本への興味を持ってもらえるようにする」です。今年度も図書委員の力を借りて、読書の楽しさを伝えていきたいと思っています。

【市川市立第五中学校 学校司書 渡辺 安子】

第一中学校&国府台高校 ビブリオバトル

7月10日（水）国府台高校の図書館にて、第一中学校と国府台高校の図書委員会による、合同ビブリオバトルが開催されました。司書教諭 末廣美貴子先生と学校司書 荻原身知子さんの提案からはじまった国府台高校とのビブリオバトルは、今年で3年目を迎えました。昨年度、図書委員会に所属していた生徒も参加するなど、生徒たちの間にも国府台高校との交流が浸透し、楽しみにしているようでした。



ビブリオバトルには、各校5組の出場があり、第一中学校、国府台高校の順に、交互に前に出て行きました。制限時間の5分を有効に活用しながら、どの発表も説得力のある内容で、聞き手の心に響くものでした。すべての発表を聞き終えた後、紹介された本を手取る生徒や「この本図書館に置いてありますか」と質問する生徒など、「読んでみたい」と多くの生徒たちが感じたようでした。また、中学生と高校生の本を選ぶ時の視点が異なるため、新しい感性やものの見方・考え方に触れるよい機会となっていました。中学生の発表の中では、本を通して自分を振り返る場面がありました。例えば、「20歳のソウル」の紹介では、「やりたいことがあっても予期しない事態がおきてできなくなってしまうことがある。やりたいことができる環境があることが幸せだと思ってほしい。」と発表していました。このような今回の経験を活かして、第一中学校の図書委員会の生徒たちは、文化祭にて全校生徒に向けて、劇を取り入れたビブリオバトルを行うそうです。



【国府台高校の生徒が紹介した本】

- レオナルドの扉 作：真保 裕一
- 新釈 走れメロス 作：森見 登美彦
- 午前0時の忘れもの 作：赤川 次郎
- 千年後の百人一首 作：清川 あさみ 最果 タヒ
- 傲慢と善良 作：辻村 深月

【第一中学校の生徒が紹介した本】

- 告白 作：湊 かなえ
- 心の森 作：小手鞠 るい
- コーヒーが冷めないうちに 作：川口 俊和
- 20歳のソウル 作：中井 由梨子
- ひと 作：小野寺 史宜

『学校図書館支援センター通信』は、市川市教育センターホームページでもご覧いただけます。

市川市学校図書館支援センター（市川市教育センター）

〒272-0015 千葉県市川市鬼高1-1-4

TEL 047-320-3335 FAX 047-320-3352

<http://www.ichikawa-school.ed.jp/index.html>

